

令和5年度

東公民館事業報告書

目 次

令和5年度公民館事業報告	〈ページ〉
1 子育て親子支援	2 ~ 9
2 青少年体験チャレンジ活動	10 ~ 18
3 学びあい・人権・地域ふれあい	19 ~ 23
4 自主学習グループの育成援助	23 ~ 25
5 生涯学習奨励員活動支援	25 ~ 27
6 文化祭	27 ~ 30
7 地域づくり推進事業の協力援助	30 ~ 31
8 情報提供事業	31 ~ 34
9 各種団体事業の協力援助	34 ~ 35
10 地元教育機関との地域連携事業の取り組み	36
11 公民館利用状況	37

令和5年度公民館事業報告

1 子育て親子支援

すくすくおやこスクール「前期」

(1) ねらい

- ①親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ②たくさん笑い、体を動かすことで、親子共にリフレッシュする。
- ③幼児安全法について学ぶことで万が一の時に必要な知識を習得し、安心して育児が行えるようになる。

(2) 対象等

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳の子）とその保護者 定員15組
周知方法：公民館報、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	6/21（水） 10:00～11:00	きらきら笑顔で親子遊び	実技	子育て支援課 こども発達支援 センター	6組 12人
2	6/29（木） 10:00～11:00	笑いヨガ ～笑いの健康体操～	実技	南橋笑いヨガ 門倉 美幸	13組 26人
3	7/6（木） 10:00～11:00	乳幼児の一次救命処置 ～もしものために～	講義	日本赤十字社	11組 24人

(4) 評価と反省

参加者のほとんどが初参加であった。講座の中で自己紹介することで、参加者同士が打ち解け仲良くなっていく姿を感じることが出来た。親子で、体を動かしたり、歌を歌ったり、親子のふれあいを学び、帰宅後もふれあいを大事にするよう講師から助言があり勉強になった様子だった。

笑いヨガでは、講師の方が高齢の方もおり、3世代交流となった。親子で、ふれあいいリフレッシュの場となった。子ども達は、風船にも興味を引き歌ったり笑ったり楽しい時間となった。講師の方に椅子を出す等、配慮が必要だと感じた。

救命の講習では、お父さん2名の参加もあり、熱心に実技をしたり質問をしていた。実際に子どもサイズの人形を使っての救命の実技は、とても実践的な学びになっていた。3回の講座が終了する頃には、お母さん同士の交流も深まり情報交換する姿が見受けられた。



きらきら笑顔で親子遊び



笑いヨガ



乳幼児の一次救命処置

下川淵・上川淵・東 三館合同ベビープログラム

(1) ねらい

- ①親が安心して子どもを連れて学習ができる場を提供する。
- ②相談し合うことのできる仲間づくりを図る。
- ③親子のふれあいを深める。
- ④家庭の教育力向上のための一助とする。

(2) 概要

対象：第一子（令和5年2月2日～6月1日生まれ）と母親 10組

周知方法：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/1（火） 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	前橋市子育て支援 課職員 B P ファシリテーター	7組 14人

2	8/8 (火) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			6組 12人
3	8/15 (火) 10:00~12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			5組 10人
4	8/22 (火) 10:00~12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に赤ちゃんも大切に			7組 14人

(4) 評価と反省

三館合同事業として開催し、今年度は、東公民館（視聴覚室）を会場として実施した。

初めての子育てに不安のあるお母さんも多く、情報交換の場となりとても有意義な場となっていた。子育てに対しても不安解消されていた。回を重ねるごとに、お母さん同士の距離も縮まり連絡先の交換もされていた。

参加者の話から、ネットでも子育てについて簡単に情報収集できるが、同じ悩みを持つ親同士で直接話をすることで気持ちが楽になったとのこと。意義のある講座であったと感じた。



すくすくおやこスクール「パパ・ママ講座」

(1) ねらい

- ①夫婦で講座に参加し、子育てについて学ぶことで夫婦の絆を深め、相互理解を促す。
- ②父親と子どものふれあい遊びを通して、親子の絆を深める。
- ③子育てをする親が子どもと一緒に運動する機会を作り、健康増進を図る。

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳）とその保護者（父母） 15組

周知方法：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
9/24（日） 10:00～11:00	パパ・ママ講座 ～親子みんなで遊ぼう～	実技	群馬医療福祉大学 准教授 鈴蘭幼稚園 園長 田中 輝幸	8組 27人

(4) 評価と反省

父、母、子どもで遊ぶ講座では、絵本やギターなどを活用し家族一体となって体を動かしたり、歌ったり、元気にとっても楽しそうに学んでいた。お父さんが主としてお子さんを抱っこし、高い高いをしたりとても良いコミュニケーションがとれていた。お母さんがいる事で、子どもは、リラックスできみなさん笑顔で受講していた。お父さんは、子どもとの距離がとても近く日頃から育児に関わっていることが想像できた。小さな子どもが両親と遊んでいる時の笑顔が印象的で、両親の愛情や絆を感じる事ができた。

家族で一体となることのできる講座は、今後も継続していきたいと思う。



親子みんなで遊ぼう



親子で高い高い

すくすくおやこスクール「中期」

(1) ねらい

- ①子育てに必要な知識を学習し、保護者の教育力を高める。
- ②親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ③参加者同士が交流する時間を作り、保護者がリフレッシュする機会を設ける。

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳の子）とその保護者 定員15組

周知方法：公民館報、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	10/3（火） 10:00～12:00	ふれあい遊びと手形足形アート	実技	Petapeta-art 認定講師 坂本 ゆきえ	15組 31人
2	10/10（火） 10:00～11:00	子育て井戸端会議	講義	講師 飯塚 由里	12組 25人
3	10/18（水） 10:00～11:00	ベビーマッサージとふれあい遊び	実技	国際ボンディング協会 ベビー認定講師 大矢 宏美	12組 24人

(4) 評価と反省

今回の講座は、定員15組募集したところ、26組の応募がありとても人気だった。

1回目の講座は、作品作りにお母さん同士の交流ができ、2時間と長い講座ではあったが子ども達も飽きることなく、とても思い出に残る作品が出来上がり評価の高い講座となった。

2回目の講座は、コロナ以来初めての託児付きの講座となった。お母さんは、お子さんと離れて穏やかな気持ちで講座に参加できていた。

3回目の講座は、お母さん同士も顔見知りとなり情報交換したりリフレッシュできている様子だった。実技の講座は、家でも実践できると好評だった。

3回連続講座は、同年齢のお子さんのふれあいや、お母さんの情報交換の場となり評価も高く、継続していきたいと思う。



ふれあい遊びと手形足形アート



子育て井戸端会議



ベビーマッサージとふれあい遊び

子育て支援講座

(1) ねらい

- ①子育て支援において必要な知識及び技術の習得。
- ②地域における子育て支援の実践活動の充実を図る。

(2) 概要

対象：保健推進員、民生・児童委員、主任児童委員

周知方法：保健推進員会及び民生委員・児童委員協議会宛に受講依頼送付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	9/6（水） 14:30～15:30	非認知能力知ってますか？～これからの社会で生きる子供たちに必要な能力～	講義	幼児教育アドバイザー 塩崎 政江	30
2	10/25（水） 14:30～15:30	災害時の乳幼児支援	講義	日本赤十字社 群馬県支部 山室俊雄	38

(4) 評価と反省

①「あずま子育てひろば」の担い手でもある保健推進員を対象に定例会後に実施した。本講座のために作成されたパワーポイントは、とても分かりやすく好評だった。演題の非認知能力について知らない受講者がほとんどでとても勉強になったと好評だった。子どもが、自己肯定感を持つためにはためには、親の自己肯定感を高める事が必要であるなど、子育て世代を支援するためにあたっての知識について学ぶことが出来た。子育てひろばの担い手という事で、簡単に作れるおもちゃの紹介をしていただき好評だった。職場体験の中学生にも司会進行をお手伝いいただき、とても印象的で勉強になったと感想をいただいた。

- ②「あずま子育てひろば」の担い手である民生・児童委員及び主任児童委員を対象として定例会後実施した。配布されたハンドブックに沿った話は、とてもわかりやすかった。災害時の支援に対する講座は、子どもや親の視点に立つなどとても役に立つ話だった。



非認知能力知ってますか？



災害時の乳幼児支援

すくすくおやこスクール「後期」

(1) ねらい

- ①保護者の保育力を高めるため、親子のふれあい方や遊び方について学ぶ。
- ②親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ③本事業は東公民館と昌賢学園群馬医療福祉大学が連携して実施し、きめ細かな家庭教育の支援とその効果を一層高めることを目指す。

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳）とその保護者 15組

広報：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	11/27（月） 10:00～11:00	絵本の楽しみ方	実技	群馬医療福祉大学 教授 田中 浩之	7組 14人
2	12/4（月） 10:00～11:00	発達段階における事故防止	講義	群馬医療福祉大学 助教授 木戸 美佐子	6組 12人
3	12/20（水） 10:00～11:00	ギターで手遊び・歌遊び♪	実技	群馬医療福祉大学 准教授 田中 輝幸	8組 17人

(4) 評価と反省

第1回の講座では、絵本を使い参加者全員で本に出てくる動物などの動きや鳴き声をまねしたりと親子のふれあいをはかった。子どもの集中力を考え、早めに講座を修了し、残りの時間は、お母さん同士の情報交換や講師への質問と

した。絵本は、ただ読むだけでなく、身体を使ったり、知育もできる子育てに欠かせない媒体であり、親子関係構築に必要であると実感する講座だった。

第2回の講座では、託児付きの講座だったため親だけの参加となった。お母さんは、お子さんに気を取られることなく集中して受講することができ評価も高かった。冬の時期に多いやけどの話は、実話を聞くことでとても勉強になっている様子だった。講座で、実際に誤飲チェッカーやチャイルドビジョンを使うことで実践的な学びとなった。

第3回の講座では、お父さんの追加参加もありました。先生が絵本を読み、親子でふれあい遊びをしながら絵本を見入ってる姿がとても良かった。ふれあい遊びをすることで適度な運動にもなっていた。ギターに合わせて、ノリノリでダンスするお子さんもいて親子でリフレッシュできている様子だった。お子さんは、ギターやギターケースを触ったり、音を出すことで一層興味がわいていた。少し早め終了し、お母さん同士の交流の場となり充実した時間となった。



絵本の楽しみ方



発達段階における事故防止



ギターで手遊び・歌遊び♪

2 青少年体験チャレンジ活動

青少年体験・チャレンジ活動「育成指導者講習会(育成会役員対象)」

(1) ねらい

子どもたちの自発性や創造性を生かしつつ、これを見守り、指導助言していく子ども会育成指導者を組織的に養成し、その資質向上を図ることにより子ども会の活動を一層充実させ、進行発展を図ることを目的とする。

(2) 対象等

対象：東地区子ども会育成団体連絡協議会 各町育成会役員、本部役員

周知方法：育成会長会議に参加希望資料配布

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	4/15(土) 10:00~11:40	危機予知トレーニングについて レクリエーション	講義 実習	市子連 岡本先生、浅原先生	32

(4) 評価と反省

初めに「子ども会活動は親が楽しまなければ子どもも楽しめない。大変だと思いますが楽しんでください。」と伝えた。KYT講習会では命を守る安全教育として話され、KYTシートを使ってどこが危険か、注意点等を受験生に発表させました。休憩をはさんで実技講習会では、じゃんけん大会等、簡単に和ませた後、バルーンアートで「ねずみ」「犬」の作り方を教わりました。時間がないので「花」や「剣」の作り方を見ているのみでしたが、子ども達が喜ぶのは「剣」だということです。最後に、「飛ぶネズミ」で的当てゲームを行い、とても盛り上がりました。その後も、じゃんけん大会を実施し、先生の作ったものを配布しました。大人もとても喜ぶ講習会で、これからの各町の子ども会行事に役立てればと思います。



KYT講習会の様子



バルーンアート講習会

青少年体験・チャレンジ活動「インリーダー講習会」

(1) ねらい

小学校5、6年生を対象に野外での共同生活を通じて、団体活動を経験するとともに、子ども会リーダーとしての資質の向上を図ることを目指します。

(2) 対象等

対象：東地区内の子ども会 小学生5年生、6年生

周知方法：子ども会育成会を通じてチラシ配付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	7/8(土) 8:30～9:05 9:10～12:00	インリーダー講習会 「KYT講習会」 「ワックスボール (キャンドル作り)」	講義 実習	市子連 岡本、真下、浅原先生 東地区子育て連本部役員 他	60

(4) 評価と反省

KYT講習会で火の取り扱い方など、市子連の先生が模造紙に書いたイラストで、丁寧に説明をし、子どもたちも理解できた様子だった。

当日は雨の予報だったので、外での実施ではなく、公民館のホールを利用してワックスボールづくりを実施。湯せんは軒下で順番に火傷しないように行った。外は曇りだったので、レクリエーションでは外で先生と鬼ごっこをして楽しんでいた。その間に、役員でホールの片づけを行ったので解散時間の短縮が図れて良かった。外は蒸し暑かったので冷房が効いている部屋を利用出来て良かったと思う。



KYT講習会の様子



外で鬼ごっこ

青少年夏休みチャレンジ教室「寺子屋スロー数学」

(1) ねらい

- ①小学校5年生～中学2年生に向けて学校では体験出来ない数学の世界を紹介することで、算数好きな子供達になお一層の興味、向上心を持たせる。
- ②ご家族での参加なので、保護者の方に子供達の探求心、追究心を一緒に感じてもらう。また、子供達の粘り強い心の成長を養い、今後の学習の一助とする。

(2) 対象等

対象：東地区在住の小学生5年生、6年生と中学校1・2年生（保護者も参加可）

周知方法：公民館報、学校へのタブレット配信で募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/30（日） 10:00～11:30	寺子屋スロー数学 「無限という不思議な森の中へ」	講義 実習	群馬高専 名誉教授 斎藤 斉	6

(4) 評価と反省

講師の斎藤先生が数学者として道を歩むきっかけになったといってもよい小学生の頃に出会った算術の問題をベースに、数学における「無限」の世界というものに子供たちを導いてくれたように感じた。代表的な「のびつつける木」という問題では、当初1mの木が毎年少しずつのび続けるが、限りなく2mまではのびるものの、決して2mにはならないという数学における「無限」の世界を体験させてくれ、小学校の算術の世界から数学の世界へと子供たちの心を導くきっかけになったように思う。ちょっと難しく感じた子もいたようだが、数学の世界に興味を持つきっかけになればいいと思う。



講座の様子



講座の様子

夏休み青少年チャレンジ教室 「絵画教室」「読書感想文教室」

(1) ねらい

- ①小学生児童を対象として、地元学生の協力のもと夏休み中の課題学習の場を提供し、苦手課題の克服の仕方を習い、自らの感性を養う。
- ②教室を通して学校、学年そして世代間の枠を超えた協調と礼儀を養うことを目的とする。
- ③今回の講座「夏休みのドリル・宿題を仕上げよう」については、群馬医療福祉大の学生企画によるもので、講師役の学生達も、企画力、指導力等、学ぶことが多く、ボランティアを通じて地域子供達との世代間交流も深める。

(2) 対象等

対象：東地区内の小学生児童を対象とする。

周知方法：公民館報、市ホームページ、学校へのタブレット配信で募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/8(火) 9:30~11:30	夏休みの宿題手助け教室 「絵画の部」	実習	群馬医療福祉大学の 学生 12名	18
2	8/8(火) 9:30~11:30	夏休みの宿題手助け教室 「絵画の部」	実習	群馬医療福祉大学の 学生 6名	17
3	8/9(水) 13:30~15:30	夏休みの宿題手助け教室 「読書感想文」 4~6学年対象	実習	群馬医療福祉大学の 学生 4名	5
4	8/10(木) 9:30~11:30	夏休みの宿題手助け教室 「読書感想文」 1~3学年対象	実習	群馬医療福祉大学の 学生 3名	8

(4) 評価と反省

「絵画の部」

昨年度まで2時間半で実施していたが、今年は2時間で実施した。低学年程飽きてしまうことが多く、また、クレヨンの作品が多いため早く作品が出来てしまうのも考えられる。12名の学生が講師として来てくれたため、そのうち2名が男子学生なので、男の子たちは喜んでいて、特に低学年の子は騒ぎだすので、相手が大変だったが、この2名がうまく沈めてくれた。

来年度はもし、実施するなら低学年、高学年に分けて、低学年は1時間半にしようか考えている。高学年は延長して3時間くらいかけて、作品を完成しているの、兄弟で出席できるのは良いが、今後考えていきたいと思う。

今度はタブレットを持ってくる子がおらず、写真を忘れた子がいて、次回の持ち物に載せようと思う。

途中、休憩も入れるが、小学生には2時間は長く感じるのだろうか、終わっても本を読んでいる子、ドリルをする子もいるので、性格が出てくるのだと思う。

「読書感想文の部」

熱が流行っているのか、体調不良の連絡があった。参加する子はやる気でしっかり取り組んでいた。昨年参加してくれた子もいて、良かったと思う。

学生さんも昨年参加してくれた子もいた。ただ、絵画と異なり、子どもたちがどんな本を読んでくるのか分からず、対応はとても難しい。でも、家ではなかなか取り組めないが、こうした静かな場所を提供し、集中する時間が出来てよかったと思う。

今まで、大学で指導して下さった先生がいなくなり、教育を受けてきた学生さんがいなくなると、この教室の実施は難しいと思う。来年は少し、異なった内容で行いたいと思う。講師が3名なので、読書感想文教室は定員を少なくした。ちょうど10名前後だったのでよかったと思える。低学年の子の方が挨拶をしっかりする。子どもはきちんとしているし、素直に対応する。大人の方がダメなのかなと思うことがある。人と関わっていると教育は大切だと思える。

- ①ふせんをつかって、興味深いところは書いて貼る。
- ②はじめ、なか、おわりを考える。
- ③どうして、心に残ったのかを書く。
- ④おわりにさいごまで本を読んで、つよく思ったことを書く。

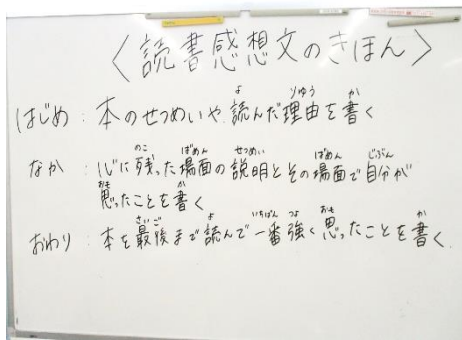
低学年の子で、やはり差があり、学習時間は1時間半程度の方が良いと本当に思った。暇つぶしのクロスワードと、大きいカレンダーの白い紙にクレヨンで描かせるのは大好評で、2時間を終えることが出来た。



絵画教室の様子



絵画教室の様子



読書感想文教室の様子



読書感想文教室の様子

青少年健全育成会事業 親子手作り教室「しめ縄づくり」

(1) ねらい

- ①昔からの伝統を受け継ぎ、季節を重んじた「しめ縄づくり」を通して、日本古来の風習を学ぶ。
- ②しめ縄づくりを通して親子の絆づくり、他の子との連携や協調性を学ぶ。

(2) 対象等

対象：東地区内の子ども及び保護者（子ども会）

周知方法：子ども会育成会を通じてチラシ配付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/9（土） 9:00～11:00	親子手作り教室 「しめ縄づくり」	講義 実習	地域指導者 稲葉 武 東地区子育連本部役員	122

(4) 評価と反省

136名の申し込みがあったが、体調不良の理由で欠席もあったが、参加率は高かったように思える。事前準備が講師や本部役員の手で実施ができなかったが、講師がわらの準備をして下さったり、当日に教わったりして、教室を開くことが出来た。

また、東箱田後家町が今年度しめ縄づくり教室を行うということで、見学に来た方もいた。健全育成会長も子どもたちの中に入って教えてくれて、とても天気がよく、外でも行うことが出来た。朝からあわただしかったが、最後にミカンや半紙をもらって帰る時に親子共々、喜んで帰っていった。1家族1本だったが、子ども1人につき、1本くらい作っていった。

講師の後継者づくりにもなるので、子育連の役員さんは大変だが、今後の担い手になって欲しいと思う。

※市書画展の東地区入賞者の作品を展示していたら、かなりの人が見ていった。来年もしめなわ教室まで展示が可能なら、実施していきたいと思う。



しめ縄づくりの準備の様子



講師のご紹介



作り方の説明



教室の様子

青少年健全育成会事業 移動プラネタリウム教室

(1) ねらい

- ①地域の子どもたちが学ぶ機会を設け、自ら学ぶ姿勢を身に付けること。
- ②体験学習を通じて、子どもの主体性やコミュニケーション力の向上を図る。
- ③子どもたちが身近にある自然に興味を持ち、面白さと大切さを知る機会を設ける。

(2) 対象等

対象：東地区内の小学生

周知方法：公民館報、チラシを各学校宛てタブレット配付

(3) 内容

同じ内容を全3回実施

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	3/2（土） 10:30～11:00	「移動プラネタリウムで 星空を観察しよう。」	講義	群馬県児童健全育成事業団 ぐんまこどもの国児童会館 移動児童館 職員2名	9

2	3/2 (土) 11:10～11:40	「移動プラネタリウムで 星空を観察しよう。」	講義	群馬県児童健全育成事業団 ぐんまこどもの国児童会館 移動児童館 職員2名	9
3	3/2 (土) 11:50～12:20	「移動プラネタリウムで 星空を観察しよう。」	講義	群馬県児童健全育成事業団 ぐんまこどもの国児童会館 移動児童館 職員2名	9

(4) 評価と反省

準備も片付けも、ぐんまこどもの国の職員の方が用意してくれるので、移動プラネタリウムが出来る部屋を確保することに専念するくらいでした。

準備に1時間ほどかかるが、職員2名と共に準備し、教室開始10分前には子どもを迎えることが出来た。機材で空気を入れて、風船のようにドームを膨らまして形を保ち、入口から小さいマットを持って、一人ずつ入っていた。星空はこども公園のプラネタリウム等で見ることはできるが、職員と身近に話しながら星空や星座を見るのは、とても楽しい時間を過ごすことが出来た。

急な発熱などで欠席者がいたが、参加してくれた子どもたちは大満足で帰っていった。



ドーム状の布を空気で膨らまします



マットを持って入っていきます

青少年体験・チャレンジ活動「子ども将棋チャレンジ教室」

(1) ねらい

- ①地域の子どもたちが学ぶ機会を設け、自ら学ぶ姿勢を身に付けること。
- ②体験学習を通じて、子どもの主体性やコミュニケーション力の向上を図る。
- ③子どもたちが身近にある自然に興味を持ち、面白さと大切さを知る機会を設ける。

(2) 対象等

対象：東地区内の小学生

周知方法：公民館報、チラシを各学校宛てタブレット配付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	3/9（土） 10:00～12:00	「子ども将棋チャレンジ 教室」	講義	地域指導者 田村 盛好 坂部 光夫	14

(4) 評価と反省

小学生の初心者向けの将棋教室を行ったが、低学年は2時間の学習時間は飽きてしまうのでは、心配だったが、あっという間の2時間だった。

初めはうまく出来なくて泣いてしまう子もいたが、分かるようになると対戦相手を変えて実力をつけていった。子どもが心配でそばについていた保護者もいたが、説得して帰ってもらった後、子どもものびのびと過ごすことが出来た。心配なのはわかるが、子どもに自立させることも大切だと改めて感じた。子どもの様子を聞きに来る保護者には、安心してもらえるよう丁寧に話すよう心掛けた。「今度の教室はいつ頃ありますか。」と質問されたので講師と相談して予定していきたい。



将棋教室の様子



実力別に班をわけて対戦



年上（月齢）が駒を振ります



先生の2人指し

3 学びあい・人権・地域ふれあい

学びあい

◆「日本茶抹茶たしなみ体験」～至福の一服でホッと一息！～

(1) ねらい

- ①地域住民の交流機会のきっかけを作り、仲間づくりの一助とする。
- ②地区在住の講師と、使われていなかった公民館の資源である茶道具を活用する場とする。
- ③ 地域の学習拠点として、自主学習グループの立ち上げを目指す。

(2) 対象等

対象：東地区在住・在勤・在学の方

周知方法：館報へ掲載

会場：東公民館 和室

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/7 (木) 14:00～15:30	あいさつ 日本茶について	講義 実習	裏千家茶道助教授 内田 光代	13
2	12/14 (木) 14:00～15:30	畳の歩き方 菓子器の扱い方 お抹茶のいただき方			13
3	12/21 (木) 14:00～15:30	総復習			13

(4) 評価と反省

地域の社会資源を活用する目的で新前橋在住の講師に依頼した。お茶屋に生まれた講師が、普段の生活の中でお茶を気軽に楽しんで欲しいとの強い想いが伝わる講義であった。参加者も、慌ただしい毎日の中でも毎回味わい深いお茶とお菓子をいただきながら、ホッと一息を付く時間が持てたと思う。長年和室に眠っていた茶道具を利用できることが分かったのは今回の講座の大きな成果であった。アンケート結果も概ね好評であり安心した。学びを続けたい有志が自主学習グループを結成する予定となっている。今後も活動の様子を見守って行きたい。



お茶のいただき方のレクチャー



美味しい一服をいただきました！

「ぼくこくぼの手づくりおもちゃ遊び」【オンライン講座】

(1) ねらい

- ①家庭にある身近な材料で簡単に作って楽しめる工作を紹介する。
- ②アフターコロナで地域の行事が再開される中、地域の集まり等で活用でき、交流のツールとなるような動画を作成する。

(2) 概要

10分程度の作品内でいくつかの工作を紹介する予定

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	3月中旬より 配信予定	「ぼくこくぼの手づくり おもちゃ遊び」の配信	YouTube 動画の視聴	あそびとおもちゃと ぼくこくぼ 小久保 繁	—

(4) 評価と反省

2月末に撮影、3月に編集及び配信。



動画サムネイル画像



撮影の様子

人 権

「手をつなぐ作品展・人権標語展」の開催

人権週間に合わせて地区内小中学校 5 校の児童・生徒に人権標語を作成してもらい、その中から優秀作品を選出して館内住民交流スペースに約 1 か月間【令和 5 年 12 月 20 日（水）～令和 6 年 1 月 19 日（金）】展示することで、子どもたちの人権教育学習成果の発表と地域の人権意識向上を図った。

また、併せて前橋市手をつなぐ育成会主催の「手をつなぐ作品展」を 12 月 20 日～1 月 8 日に同時開催し、障がい者の方々が作業所で制作した製品などを多くの来館者に見ていただいた。



手をつなぐ作品展



人権標語展

地域ふれあい

東クローバー教室

(1) ねらい

- ①健康で生きがいのある充実した人生の構築・創造を図る。
- ②高齢者と地域社会とのふれあいを深める。
- ③こころ豊かな生活づくり（健康づくり・仲間づくり等）に貢献する。

(2) 対象等

対象：①③東地区老人クラブ連合会役員

②④⑤東地区在住 60 歳以上の方

周知：公民館報、老人会への回覧

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	9/1（金） 10:30～11:30	介護保険や制度の仕組み・地域の見守りで大切なこと	講義	前橋市地域包括支援センター東管理者 小菅宏美	15

2	9/12 (火) 10:00～11:30	イチからわかる！ロボット 支援手術	講義	済生会前橋病院 外科・腹腔鏡外科センタ ー代表部長 藍原 龍介	48
3	10/6 (金) 10:30～11:30	知っておきたいこと ～認 知症ケアパス～	講義	認知症サポーター・東地 区老人クラブ連合会長 竹之内 孝之	14
4	10/24 (火) 10:00～11:30	脳トレや体操でいきいき活 動。楽しく体を動かし介護予 防・フレイル予防を目指しま しょう！	実技・ 講義	群馬医療福祉大学 社会福祉学部教授 田口 敦彦	35
5	11/20 (月) 10:30～11:30	健康で楽しく生きるために	講義	群馬医療福祉大学 地域連携・キャリアセン ター長 平 形 和 久	36

(4) 評価と反省

今年度は新しい試みとして、東地区老人クラブ連合会の役員のみを対象とした講座を2つ実施した。月の定例会の後に実施し、1つは東地区老人クラブ会長が自ら講師となって講座を開催した。気心の知れた仲間同士で少人数の講座を実施することにより、より熱心に受講している様子が見られた。町の活動に活かすことが見込まれ、実りのある講座となった。また、会員の特技を活かした講座について、お互いに良い刺激になったと思われる。

済生会前橋病院の講座では、令和4年に導入された最新の手術ロボットについて学ぶことが出来、参加者にとって貴重な機会となった。講座後の健康相談コーナーにも参加者の多数が参加し、地域の医療機関と地域住民の結びつきを深めることが出来た。

群馬医療福祉大学の講座では、体を動かす講座と座学の講座を実施し、いずれもアンケート評価は高く、また開催して欲しいとの声をいただいた。「今後も運動を続けたい」、「地域のサロンで活かしたい」、「講師の実例を交えた話が分かりやすい」等の意見をいただき、好評であった。

全講座に共通して、想定より参加者が集まらなかった点が残念であった。コロナ以降、地域住民の講座離れがある様にも感じる。少人数の講座の良さもあるが、地域の医師や大学教授に教えていただく貴重な機会であるので、集客を目指し、新しい周知方法も検討したい。



「介護保険や制度の仕組み・
地域の見守りで大切なこと」



「イチからわかる！ロボット支援手術」



「知っておきたいこと
～認知症ケアパス～」



「脳トレや体操でいきいき活動。
楽しく体を動かし介護予防・フレイル予防を目指しましょう！」



「健康で楽しく生きるために」

4 自主学習グループの育成援助

(1) ねらい

- ①各グループの活動について、理解を深め、親睦を図る。
- ②生涯学習を推進し、文化を育てる。
- ③豊かな地域づくりに寄与する。

(2) 対象等

対象：東公民館自主グループ連絡協議会各グループの会員

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	①7/6(金) ②7/13(木)	Instagram講座 (初級～活用編)	講座	NPO 教育支援協会 北関東	①13人 ②14人
2	9/1(金) ～9/30(土)	サークル見学・体験月間	見学体験	自主学习グループ	26 団体
3	1/15(月) 14:00～15:30	新春合同研修会 「生演奏で歌って動いて 健やか講座」	歌、運動	前橋市職員 関口知子、宇多隆博、 上原浩二、猪熊美菜子	39人

(4) 評価と反省

Instagram講座は、初級編と活用編に分けて実施した。初日の初級編では、自分のペースでInstagramを登録したり、いろいろな機能について学ぶことができた。2回目の活用編では、1回目につきいろいろな機能について学習し、自主グループ連協のアカウント登録を全員で行い、各グループがおのの独自にグループ紹介などを投稿できるようになり、手軽に情報発信ができるようになるのではないかと期待したい。

サークル見学・体験月間は、参加希望の団体を対象に、通常のサークル活動時間に参加者を受け入れ自由に見学や体験をしてもらった。自主連協34団体の内26団体が参加した。広報活動支援として、館報、市ホームページに記事掲載のほか、参加グループの紹介ポスターや一覧表を作成し館内に掲示配布した。今後も実施を希望する声が多くあり、概ね好評だった。

新春合同研修会は、次年度の減免申請、及び、ふるさとあずま作品展の説明会の後、前橋市の出前講座を利用し「生演奏で歌って動いて健やか講座」を行った。講座は講師の楽しい話の下、歌を歌ったり、体を動かしたり、頭を使うストレッチをするなど、心も体も健康になったように思う。



サークル見学・体験月間
グループの紹介ポスター



Instagram
講座



新春合同研修会
講演会

参考：自主グループ連絡協議会行事

回	月 日	内 容	参加者等
1	4/17 (月)	総会	50 人
2	5/22 (月)	代表者会議	44 人
3	11/11 (土) 12 (日)	東公民館文化祭 舞台発表 作品展示	16 グループ 15 グループ
4	12/18 (月)	東公民館大掃除	51 人
5	2/1 (水)	東公民館自主連協だより 「なかま」第 32 号発行	2000 部

5 生涯学習奨励員活動支援

(1) ねらい

- ①生涯学習奨励員等が、地域や町内などで生涯学習を推進していくための基本的な知識や学習情報を知る機会とする。
- ②地域における学習課題を考え合い生涯学習推進を図るための一助とする。
- ③東地区の歴史を学び、地元への郷土愛を育む。

(2) 対象等

対象：東地区生涯学習奨励員、自治会長等

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/18(金) 10:00~11:00	バルーンアート体験	講義 実技	市民講師 田子 智代	17
2	11/21(木) 8:30~17:00	視察研修 沼田市方面 (沼田公園、沼田市歴史資料館、吉祥寺、名胡桃城址)	視察見学	施設担当者 観光ガイド	19
3	1/19(金) 10:00~11:30	L I N E 講座 初級編	講義	N P O 教育支援協会 北関東	14
4	3/15(金) 10:00~11:30	令和4年度に発掘された前橋市の遺跡 ～江田村西遺跡を含む6つの遺跡について～	講義	前橋市文化財保護課 並木 史一	

(4) 評価と反省

第1回は、のびゆくこどものつどいで担当するバルーンアートの講座を奨励員を対象に実施した。講師の説明が分かりやすく、参加者は失敗しながらも、だんだんとコツを掴んで行っている様子であった。子どもの喜ぶバルーンアートの種類を教えていただき、趣旨に沿った講座を開催することができ、有意義な研修となった。

第2回の視察研修では、沼田市方面を巡り、かつて沼田城であった沼田公園を現地の観光ガイドにガイドしてもらい、沼田市歴史資料館、南北朝時代に創建された川場村の吉祥寺、沼田領をめぐった名胡桃城跡を見学し、その歴史、文化を学び見聞を深めることができ有意義な研修となった。

第3回のLINE研修・初級編では、会議室のスクリーンにテキスト等を映し出して説明を行う講師が1名、全体を見回り、参加者の個別の質問に答える講師が4名という体制で丁寧にLINEの研修を行った。

研修では、自分のペースで操作確認したり、いろいろな機能について学ぶなど、LINEの概要や操作について学ぶ事ができ、大変有意義だったと思う。中にはまだLINEに抵抗感がある参加者もいたが、少しずつLINEに触れてもらい、「身近なもの」へと認識が変わり、様々な人との交流の一助になることを期待したい。



バルーンアート体験



視察研修



LINE 講座・初級編

6 文化祭

(1) ねらい

- ①東公民館を利用して学習するグループ及び東地区の地域団体が、日ごろの学習や活動の成果を発表する。
- ②東地区の地域団体との交流を深め、地域文化の向上を図る。

(2) 概要

事業名：第43回東公民館文化祭

会場：東公民館

(3) 内容

月日・時間	部門	学習主題・内容	人数
11/11 (土) 10:00~11:45	オープニング イベント	箱田中ソーラン、開会式典、東中学校吹奏 楽部、育英短期大学和太鼓・ダンス部 4団体 51人参加	約2,000 延べ来場者数
11/11 (土) 10:00~14:30 11/12 (日) 10:00~15:00	舞台発表	大正琴、フォークダンス、詩吟、太極拳、 社交ダンス、コーラス、ハーモニカ、 ラウンドダンス、フラダンス、ウクレレ、 歌謡曲等 16団体 18ステージ 延べ203人参加	

11/11 (土) 10:00~16:00 11/12 (日) 10:00~15:00	作品展示	歴史、水彩画、ペン習字、陶芸、短歌、書道、水墨画、革工芸、写真、食生活、生涯学習奨励員、地区内小中学校等 15団体 318点出展 延べ76人参加
11/11 (土) 10:00~16:00 11/12 (日) 10:00~15:00	室内催し	健康増進コーナー、スポーツ吹矢体験会、手話体験会 3団体 延べ65人参加
11/11 (土) 10:00~15:00 11/12 (日) 10:00~13:00	屋外催し (ふれあい 広場)	各種団体模擬店、農産物直売、キーホルダー作り、ピンシヤン体操、防災食品配布等 11団体 延べ223人参加

(4) 評価と反省

関係団体の協力を得て、通常に近い形では4年振りの文化祭を無事に開催できた。配置する係員の負担を減らすため、例年借用していた近隣駐車場の手配をしなかったため、開催前には様々な意見をいただき心配していたが、館報等で事前に周知したため、当日は公民館内の駐車場のみの対応でも大きな混乱なく終了した。

オープニングイベントでは、地元の中学校と短期大学の学生の出演があり、若い力に触れた地域の方々は大喜びだった。舞台発表と作品展示では、参加を希望した自主グループが日頃の活動の成果を発表した。室内催しと屋外催しでは、各種団体等が出店して2日間とも賑わっていた。

子どもたちにも楽しんでいただけるように初めてスタンプラリーを実施したがとても好評で、地域の交流を喜んでくださる来場者が多い印象であった。



オープニングイベント (箱田中ソーラン披露)



オープニングイベント (東中吹奏楽部演奏)



オープニングイベント（育英短大和太鼓演奏）



オープニングイベント（育英短大ダンス部）



舞台発表（フォークダンス）



舞台発表（大正琴）



舞台発表（フラダンス）



舞台発表（ウクレレ）



室内催し（手話体験）



作品展示（地区内小中学校）



作品展示（交流スペース）



作品展示（陶芸作品）



ふれあい広場（フリーマーケット）



ふれあい広場（老人会団子販売）



ふれあい広場（子育て連ブース）



ふれあい広場（体協やきまんじゅうコーナー）

7 地域づくり推進事業の協力援助

（1）ねらい

地域文化の特色を思い、醸成された「共助」の良さを進め、和やかで心豊かな地域性を持続していくことを目的とする。

（2）概要

東地区では、平成20年度に地域づくり協議会が設置され、地域づくり推進事業を行っている。現在は、福祉部会・文化部会・安全安心対策部会・公園愛護部会の4部会が設置されている。

（3）事業内容

本年5月から新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されたことにより、協議会事業も徐々にコロナ禍以前の活動を取り戻してきた。

部会ごとの状況は概ね以下のとおりである。

① 福祉部会

子育てサロン部門では少子化・核家族化による育児ストレスの解消を図り、地域全体で子どもを育てる取り組みのひとつとして「あずま子育てひ

ろば」を、毎月第四木曜日に東公民館視聴覚室で開催すべく準備したが、本年度は昨年度に引き続き、隔月（年間計 6 回）で日時や会場並びに実施方法を変更して開催した。

この子育てサロンは、子育て世代の親子が気軽に集まれる「居場所」として定着し、根強い人気もあるので、次年度からはコロナ禍以前のかたちに戻すこととし、毎月第 4 月曜日を原則に開催していきたい。

また 1 2 月 4 日には、東地区社協、包括支援センター東と共同事業として、担い手研修会を開催した。

② 文化部会

秋に一か月間開催された「ファミリーウォーキング」に伴い、コース上で「あずまかるたクイズ」を実施しその普及を図った。

また、公民館文化祭の中で「あずまかるた大会」を催し、かるたの普及活動を行う予定であったが、地区内小中学校でインフルエンザが猛威を振るっていたため実施できなかった。

さらには、地区内で美術等の自己研鑽に努めている人の発表の場として、2 月 4 日から 9 日まで「第 6 回ふるさとあずま作品展」を開催した。今回は数多くの力作が集まり、参観者からも好評の声を聴くことができた。

③ 安全安心対策部会

東地区内の 6 土木業者と災害時における防災活動協力に関する協定を締結している。特に大雪（平成 26 年級）の時は地区内にある小学校の周りを中心に除雪を行う予定である。

また 3 月 1 1 日には、安全安心対策部会では東地区社協と共同で、防災研修会（HUG：避難所運営ゲーム）を開催し、避難所運営に係る課題等を学んだ。

さらには、3 月 1 3 日に東地区の溢水対策について、市道路管理課から都市計画道路建設に伴う箱田中周辺地域の排水計画案について説明を受けるとともに質疑応答を行った。

④ 公園愛護部会

公園愛護部会は、東公民館に隣接して完成した東ふれあい公園を東地区全体で管理するために新設した。実際に活動を行うため、地区内全自治会や各種団体が東ふれあい公園愛護会を設立し、6 月から 11 月の間、当番制で公園の草刈り等の活動を行った。

8 情報発信事業

(1) 公民館だより「あずま」の発行

①住民参加による館報編集委員5名の編集委員会を月2回開催し、館報裏面を作成している。

②館報は毎月1日発行。地域の人口増加に伴い毎戸配布（14,990部×12カ月）も年々増えている。

③表面は、公民館主催事業、地区内行事、各種団体行事、市事業案内などを掲載し、裏面は、編集委員の取材記事などを掲載する。

今年度は、5月・6月・7月号では東地区の紹介として、東地区の写真や雷電神社の石碑、東の農村生活の紹介。8月号は、年々薄れていく戦争の記憶を再掲載。9月号は、敬老の日にあわせ地区内の元気な高齢者へのインタビュー記事。10月号は、のびゆくこどものつどい、11月、12月号は、文化祭の記事を掲載。2月号では地区の新成人からの抱負なども掲載した。コロナが5類となり、ほぼ従来通りのイベントが開催となり掲載することができた。地区内の情報を住民が興味を持つよう発信している。

(2) ホームページを活用した情報提供の充実

前橋市ホームページ内に東公民館のページを展開。施設概要の他、公民館主催事業、地区行事、市民サービスセンター業務などを掲載。

(3) 公民館内モニターにて来館者への情報提供

自主グループの活動紹介を兼ねて、文化祭の様子を上映。館内利用者へ周知を図った。



自主グループ活動紹介を兼ねた文化祭の様子を上映

《公民館DX事業》

スマホLINE講座①②③

(1) ねらい

①スマートフォンの活用が広がる中、代表的なアプリの一つである「LINE」を便利に使うための基本操作を体験すると共に、地域住民のデジタルスキルとメディアリテラシーの向上を図る。

②講座での学びを通じて地域活動へ還元する人材を育成する。

(2) 対象等

対象：東地区の住民

周知方法：館報に掲載

会場：東公民館第2・3会議室

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/29(水) 6/30(木) 10:00~11:30	【1日目】 ①各種スマホ設定、②LINEとは、③LINEの起動、画面の確認、機能紹介「ホーム・トーク」、設定1「アイコンの変更」、④LINEの設定2「プライバシー管理」、「友だち」、「トーク」⑤友だちの追加「QRコードによる登録・紹介」、⑥質疑応答	実習	(株)ジーシーシースタッフ 新井 久子 氏他	11
2	7/31(月) 8/1(火) 10:00~11:30	【2日目】 ①1日目のおさらい、②トーク「送信・受信回数」、③スタンプ「無料ダウンロード」、④写真の送受信、保存、⑤通知設定「通知オフ・ブロック・削除」			10
3	8/29(火) 8/30(水) 10:00~11:30				10

(4) 評価と反省

昨年度大好評で継続希望の声が多かったため今年度も実施した。周知は公民館報に掲載のみであったが、申し込み開始後1時間ほどで定員いっぱいになった。参加者のほとんどが70代と80代であったが、毎回真剣に取り組む姿が見受けられ、ニーズの高さを感じた。ジーシーシースタッフの講師陣もとても分かりやすく熱心に指導していただき、地域住民のデジタルスキル向上の目的を果たすことができ感謝している。



基本操作の確認



参加者同士で教え合う姿も見受けられました！

9 各種団体事業の協力援助

主催	月日	事業内容	対象及び参加人数	会場
会 実 行 委 員	9/3 (日)	第36回東地区のびゆくこども ものつどい並びに第23回東 地区ふれあいの広場	参加者、協力者 1,300人	東公民館 東ふれあい 公園
子 育 連	4/15 (土)	育成指導者初級講習会	育成会役員 32人	東公民館
	5/27 (土)	スポーツ少年団体験教室	小学生 9人	東小学校 新田小学校
	6/10 (土)	第29回スマイルボウリング 大会	参加者 小学生 205人 大人 51人	東小学校 新田小学校
	7/8 (土)	インリーダー講習会	小学生5~6年生60 人	東公民館 東ふれあい 公園
	10/1(日)~ 10/31(火)	ファミリーウォーキング	親子 169世帯	東地区内
	9/22 (金)	上毛かるた講習会	本部・育成会役員 63人	東公民館
	10/15 (日)	第47回上毛かるた大会	小学生 122人	東小学校
	11/27(月)~ 12/9(土)	書画展入賞作品展示	小学生 入選作品 絵画 20点 書道 35点	東公民館
	12/9 (土)	親子手作り教室 (青少年健全育成会・ 子育連)	親子 122人	東公民館

自治会連合会・体育協会	5/21 (日)	第 54 回男子ソフトボール大会	260 名	東中学校 箱田中学校 中央中等教育学校
	6/18 (日)	第 2 回ソフトバレーボール大会	155 名	東中学校
	10/1 (日)	第 61 回東地区市民運動会	中止	箱田中学校
	11/26 (日)	第 3 回スポーツ(ソフトバレーボール) 教室	中止	東中学校
	2/18 (日)	第 51 回卓球大会	185 名	東中学校
	3/2 (土)	年間総合表彰式	39 名	東公民館
老人クラブ連合会	5/25 (木)	第 8 回グラウンドゴルフ大会	東地区老人クラブ 連合会員 98 人	東ふれあい公園
	7/24 (月)	第 2 回輪投げ大会	東地区老人クラブ 連合会員 74 人	東公民館
	11/6 (月)	第 26 回芸能発表会	東地区老人クラブ 連合会員 119 人 来賓 3 人	東公民館
青少年健全育成会	8/19 (土)	こどもを明るく育てる地区別会議 ①少年の主張発表 ②講演会	本部役員 地区内小中学校長 自治会連合会 子ども会育成会 など 105 人	東公民館
東地区社会福祉協議会	① 7/29 (土) ② 10/21 (土) ③ 1/27 (土)	東地区社協地域市民講座 ①初心者向けスマホ基礎講座 ②かんたんタオル体操 ③男性向け料理教室	東地区在住の方 ① 27 人 ② 15 人 ③ 8 人	東公民館
	6 月～3 月 月 1 回 計 10 回開催	はつらつカフェ (健康講座) ・スマホ基礎講座 ・ライン基礎講座 ・チェアヨガ講座 ・ねこ背改善講座 ・コグニサイズ講座 ・体力診断講座 など	前橋市在住の方 108 人	東公民館

10 地元教育機関との地域連携事業の取り組み

東地区にある群馬医療福祉大学と前橋市は、教育研究や人材育成、地域防災など双方の有する資源を有効に活用し、様々な分野で連携協力していくため協定（包括連携協定）を締結しています。群馬医療福祉大学では、地域貢献活動・ボランティア活動からより学びに重点を置いた「サービ斯拉ーニング」という学習に取り組んでいるとのこと。

今年度は小学生向けの「夏休みの宿題手助け教室」として、絵画と読書感想文の作成支援を実施した。群馬医療福祉大学の学生にもサポートしてもらうことで、学生と児童とのコミュニケーションが活発になり、講座を円滑に進めることが出来た。（13～15ページ参照）

また、東地区の小中学校5校との連携事業として、児童生徒の書道（令和6年2月15日～26日）及び特別支援教育の児童・生徒の作成した絵画等の作品（令和6年2月3日～9日）を館内住民交流スペースのパネルボードに展示した。



東の会 児童・生徒作品



書初め 児童・生徒作品

11 公民館利用状況

令和5年度 団体別利用状況

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
公共団体	件数	89	51	45	113	45	64	44	44	34	81	92	702
	人数	7,377	1,369	835	4,433	696	1,306	671	646	288	1,976	4,242	23,839
青少年団体	件数	16	9	9	16	11	36	4	6	22	12	13	154
	人数	183	189	120	533	259	1,622	72	58	449	342	210	4,037
女性団体	件数	6	16	11	7	4	5	8	8	9	6	10	90
	人数	94	145	199	142	89	100	155	149	124	90	161	1,448
成人団体	件数	110	107	135	115	108	119	118	111	115	119	117	1,274
	人数	1,397	1,363	1,754	1,466	1,323	1,486	1,506	1,400	1,386	1,349	1,441	15,871
高齢者団体	件数	4	2	2	3	2	1	4	10	1	2	1	32
	人数	140	16	16	91	16	16	26	140	15	16	16	508
主催事業	件数	5	2	12	6	28	10	15	42	15	5	19	159
	人数	43	9	181	38	261	227	221	1,677	285	34	341	3,317
企業その他	件数	88	112	99	98	97	85	106	126	133	110	116	1,170
	人数	735	843	889	910	1,038	835	1,200	1,204	1,456	993	1,013	11,116
合計	件数	318	299	313	358	295	320	299	347	329	335	368	3,581
	人数	9,969	3,934	3,994	7,613	3,682	5,592	3,851	5,274	4,003	4,800	7,424	60,136

令和4年度との比較（2月末現在）

	件数	人数
令和4年度	3,448	45,037
増減率	104%	134%